

片袖の魚

The Fish with One Sleeve

トランスジェンダーのささやかながらも確かな一歩を刻む34分。
わたしがわたしを生きる物語、北海道初上映。

映画『片袖の魚』札幌上映会 & トークイベント

上映作品監督 東海林 毅氏

『片袖の魚』主演 イシヅカユウ氏

同時上映：『老ナルキソス』『ホモソーシャルダンス』『帰り道』

※全作品英語字幕付き (There are English subtitles on all movies)

2022年10月10日(月・祝) 15:30 開場

16:00~17:20 映画上映(『片袖の魚』含む4編) 17:30~18:30 トークイベント

会場：北海道大学 学術交流会館(札幌市北区北8条西5丁目)

料金：事前予約 1000円 当日 1200円 学生および学内関係者 左記金額より200円引き(身分証チェック有) ※支払いは当日現金のみとなります

事前予約方法：QRコードより応募フォームに記入いただくか、もしくは下記のメールアドレスにまでご連絡ください

連絡先：さっぽろレインボープライド公式メールアドレス(sprainbowpride@gmail.com)



【応募フォーム】



【主催】 さっぽろレインボープライド 北海道大学ダイバーシティ・インクルージョン推進本部 北海道大学公認 LGBTQ+サークル「虹の集い」

【後援】 北海道大学 大学院文学研究院 応用倫理・応用哲学研究教育センター

※当イベントは非営利イベントです。入場料は映画のレンタル費をはじめとする運営費に充てられます。 ※コロナの感染状況に鑑み、国および北海道の基準に沿って開催をいたします。これに当たり、急遽の開催形態変更や中止などがある場合は、「さっぽろレインボープライド」のホームページ、各種SNSをはじめ、ネットを通じて告知いたします。



ずっと、わたし。

トランスジェンダー女性のひかりは、ときに周囲の人々とのあいだに言いようのない壁を感じながら理解者にも恵まれ、会社員として働きながら東京で一人暮らしをしている。ある日、出張で故郷の街へと出向くことが決まる。ふとよぎる過去の記憶。ひかりは、高校時代に同級生にいまの自分の姿を見てほしいと考え、勇気をふり絞って連絡をするのだが――

< 作品概要 >

自分を不完全な存在だと思い込み、自信を持てないまま社会生活を送るひとりのトランス女性が新たな一歩を踏み出そうとする――。そんなささやかな瞬間の物語を、詩人・文月悠光の詩を原案として、東海林毅が丁寧に映像化した。制作開始にあたっては、日本で初めてとなるトランスジェンダー女性当事者の俳優オーディションを開催。多数の応募者の中から主役に選ばれたのは、ファッションモデルとして活躍しているイシヅカユウ。これが映画初主演となる。本作では新型コロナウイルス対策として少人数かつスピーディーな制作に対応するため、全編にわたりスマートフォン(Sony Xperia 1) 1台のみで撮影が行われた。2022年、南アジア最大のクィア映画祭、KASHISH Mumbai International Queer Film Festival 国際コンペ部門にて、イシヅカユウはこの『片袖の魚』によって最優秀主演賞を受賞。

< 出演者 >

ひかり/光輝 …… イシヅカユウ
千秋 …… 広畑りか
久田 敬 …… 黒住尚生
辻 史夏 …… 猪狩ともか
熱帯魚店店主 …… 田村泰二郎
山中恵子 …… 原日出子
ほか

< スタッフ >

原案：文月悠光『片袖の魚』
(『わたしたちの猫』ナナロク社刊)
プロデューサー・脚本・監督：東海林毅
撮影：神田創
照明：丸山和志
録音・音響効果：佐々井宏太
美術：羽賀香織
衣装：鎌田歩 (DEXI)
ヘアメイク：東村忠明

編集・VFX：東海林毅
制作：清水純 牛丸亮
助監督：小池匠

宣伝スチル：向後真孝
ビジュアルデザイン：東かほり
配給協力・宣伝：contral
製作・配給：みのむしフィルム
Copyright © 2021 みのむしフィルム



トークイベントゲスト紹介

東海林 毅氏

上映作品 4作品の監督。武蔵野美術大学在籍中より映像制作を開始し、1995年東京国際レズビアン & ゲイ映画祭にて審査員特別賞を受賞。短編『老ナルキソス』は第27回レインボー・リアル東京でグランプリ他、国内外の映画祭で10冠を獲得。



イシヅカユウ氏

『片袖の魚』主演。2013年頃より活動を開始し、現在ではファッションショー、スチール、ムービー等、さまざまな分野で幅広く活躍。トランスジェンダー当事者であることを公言している。好きな魚はキイロハギ。



同時上映作品情報

『老ナルキソス』

2017年/21分 出演：田村泰二郎 他

ゲイでマゾヒストの老絵本作家と青年の出会い、その生き様を鮮烈に描く短編ラブストーリー。国内外で数々の賞を受賞。



『ホモソーシャルダンス』

2019年/11分 出演：新宅一平 他

寸劇とコンテンポラリーダンスによって、男性社会の持つホモソーシャルティ(単一社会性)とミソジニー(女性嫌悪)というテーマを皮肉を込めて表現する。



『帰り道』

2019年/10分 出演：眼鏡太郎 他

戦時下の福岡を舞台に、徴兵検査を受けた学生たちの帰り道を描く。戦争という大きなうねりにかき消される、性的マイノリティの揺れ動く感情を可視化した作品。

